

知床岬・知床岳方面を目指す方へ **【重要】**

フードコンテナがあなたの 安全を守ります!!

No Food container

No Safety!!

フードコンテナとは

食料などをヒグマに奪われないための強化プラスチック製容器。ヒグマの力でも壊れない強度と、歯やツメが引っかかりにくい形状になっている。



平成21年夏には、
フードコンテナに入れていなかった食料が荒らされる事件が
羅臼側海岸（念仏岩付近）で2件発生しました。

知床は世界有数のヒグマ高密度生息地域です。

知床岬・知床岳方面での野営には

必ずフードコンテナを使用してください。

※レンタルもあります。詳細は裏面をご確認ください。

環境省・北海道・羅臼町・中標津警察署・知床財団

【知床半島先端部（知床岬・知床岳など）に向かう方へ】



あなたのヒグマ対策は万全ですか？



誤った判断は自分の身だけでなく、同行している仲間や今後訪れる方々まで危険にさらしかねません。知床半島先端部に立ち入る際には、以下のことに十分注意してください。

事前準備

- (1) ルサフィールドハウス、羅臼ビジターセンター、知床自然センターのいずれかの施設から、ヒグマによるリスク（危険性）の軽減に関する最新の情報を入手し、十分な理解・学習を行うとともに、これらに対処する技術の習得に努めてください。
- (2) 臭いが強い食料や持ち物はヒグマを誘引するため危険です。食料や持ち物はできるだけ臭いが発生しないものを選定してください。
- (3) フードコンテナ、クマスプレー、クマ鈴など、リスクの軽減、事故防止のための装備を準備してください。

※フードコンテナとクマスプレーは、下記の施設でレンタルしています。詳しくは施設に直接お問い合わせいただくか、レンタルを行っている知床財団のホームページをご覧ください。

(http://www.shiretoko.or.jp/bear/bear_10.htm)

行動中

- (4) ヒグマとの突発的な遭遇は事故の最大の原因です。常に周囲に気を配る他、見通しの悪い場所では声を出しながら歩く、夜間・薄明薄暮・濃霧時などは行動を避けるなどしてください。
- (5) エゾシカやアザラシなどの死体があった場合、餌を守ろうとするヒグマから激しい攻撃を受ける可能性があるため、死体から速やかに離れてください。
- (6) 食料やゴミなど、ヒグマを誘引する物をデポしたり放置したりしてはいけません。岩の下などに隠してもいけません。
- (7) 食料やゴミなど、臭いを発する物をテントに入れて就寝するのは非常に危険です。**必ずフードコンテナで保管**し、テントから充分離れた場所に置いてください。
- (8) ヒグマを目撃した場合は、ヒグマを刺激しないよう引き返すなど適切な行動をとってください。特に子連れのカマには注意が必要です。

皆様へのお願い

ヒグマ対策では他にも留意すべき事項が数多くあります。また、知床半島先端部地区はヒグマ対策以外にも多くの注意点があります。先端部地区への立ち入りにあたっては「**知床半島先端部地区利用の心得**」*を必ずよく読み、実践してください。

【ヒグマ対策・先端部地区の情報入手できる施設】

○知床世界遺産ルサフィールドハウス <http://shiretoko-whc.jp/rfh/>

開館時間（夏期）5～10月 9:00～17:00 火曜日休館

（冬期）2～4月 10:00～16:00 火曜日休館

0153-89-2722 北海道目梨郡羅臼町北浜8番地

○羅臼ビジターセンター <http://rausu-vc.jp/>

開館時間（夏期）5～10月 9:00～17:00 月曜日休館

（冬期）11～4月 10:00～16:00 月曜日/年末年始休館

0153-87-2828 北海道目梨郡羅臼町湯ノ沢町6-27

○知床自然センター <http://www.shiretoko.or.jp/>

開館時間（夏期）4/20～10/20 8:00～17:40 休館日なし

（冬期）10/21～4/19 9:00～16:00 12/31のみ休館

0152-24-2114 北海道斜里郡斜里町岩宇別

※利用の心得は、左記施設の他知床データセンターで入手できます。
(<http://dc.shiretoko-whc.com/>)
計画と法律>知床ルール>先端部利用の心得



知床半島先端部地区では、厳しい自然条件があなたを待ち受けています。立ち入る際には、十分な知識、高い判断力や体力が必要です。